

茨城県南部・ハス田の防鳥ネットで 命を落とす大量の野鳥がいます



レンコンを鳥の食害から守る目的で、茨城県の霞ヶ浦沿岸のハス田に 防鳥ネットが一年中張られるようになって 17 年になります。ハス田の天井と四周を防鳥ネットで囲み、鳥の侵入を防ぐはずが、構造や運用上の問題から鳥の侵入を許し、ハス田から飛び立とうとした鳥が防鳥ネットに絡んで、**毎年収穫期の3ヶ月だけで 約 1,500 羽、過去 14 年間で 2万羽以上が死んでいます。**

2018 年には野田市で放鳥した特別天然記念物のコウノトリ、過去には天然記念物のオオヒシクイや、絶滅危惧種のサンカノゴイやツクシガモなども防鳥ネットにかかって命を落としています。



レンコンの食害と野鳥の**死亡事故を防ぐには、収穫期に** **だけ下の写真のような網を地面に直置きし、収穫後に取り外す方法で解決できます。**

この方法を普及する契機になるよう、皆様の署名簿を県議会議長宛の請願書に添え、3月の定例県議会に提出する予定です。2月末までたくさんの署名をお待ち申し上げます。

